

JAきたみらい

あけびま サクラ

2013



vol.122

3

はいっポーズ!

《端野地区・三区》

安藤悠希さんと柚乃ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

●JAきたみらい 青年部・女性部・フレミズ
第9回通常総代会を終える



高品質・豊作を願って 玉葱の播種作業

季節の薫り



まだまだ、厳しい寒さが残る2月中旬、玉葱生産量全国一を誇るきたみらい管内で播種作業が始まった。

ここ訓子府地区では2月15日より3月中旬まで、極早生種、早生種、中晩生種の順に作業が続く。6台の播種機を稼働させ、期間中に育苗ポット35万4000枚の種まきが行われる。JAきたみらいの顔ともいべき作物の基礎となる作業だけに、生産者の表情は真剣そのものだ。



播種された育苗ポットは、各生産者のハウスへ運ばれ、伏せ込みが行なわれる。この時期、朝夕の急激な冷え込みもあり、温度管理や水管理など生産者にとって気の抜けない日々が始まる。

こうした生産者の努力の積み重ねによって、「消費者の期待」に応える高品質な玉葱が生産される。

写真：2月20日、訓子府町内の玉葱生産者で構成する玉葱共同播種集団の播種作業を撮影。同集団は54戸の生産者で構成され、本年は約520%の作付けを予定。右下写真は育苗ポットの448個のくぼみに播種のれが無いかチェックする生産者。
なお、JAきたみらい管内の作付予定面積は4,458%で、生産量24万トンを見込んでいます。

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「鶏肉のみそ焼き丼」 「炒めなます」	24
○JAからのお知らせ	20
○青年女性ネットワーク	18
○ほのぼの広場 ・きたみらいのホープさん ・マイティスト 「プラスバンド」 ・思い出の写真 ・私のパートナー ・わが家のアイドル ・大きくなったら ・おらがまちのおしどり夫婦 ・まちがいきがし ・読者の声	14
○JAきたみらい ホットライン東西南北	10
○表紙紹介 「愛きょうのある子に」	2
○季節の薫り	2
特集① JAきたみらい 青年部・女性部・フレミズ 第9回通常総代会を終える	4

表紙紹介

愛きょうのある子に

2月20日、約束の時間に安藤さん宅にお邪魔すると、「だあれ？」とくりくりしたお目で私たちを見つめていた袖乃ちゃん、実はメガネをかけた人が苦手というので、慌ててメガネを外し取材が始まりました。

誕生から8ヶ月が過ぎた現在、ハイハイや伝い歩きができるようになりました。家の中の行動範囲も広がり「目が離せませんが、日々成長を感じます」と話すお母さん。離乳食も始まり、中でもさつまいもやおかゆが大好きです。

最近ではテレビにも興味を持ち、CMなどの音楽が流れてくると振り向いて興味津々です。お屋敷から目覚めたばかりの袖乃ちゃんでしたが、取材中につつせになり、ときおり可愛らしい笑顔で応えてくれました。そんな袖乃ちゃんにお父さんとお母さんは、「明るく愛きょうのある子に育って欲しい」と話してくれました。

今月から保育所に通う袖乃ちゃん、お友達たくさん作ってね！



【ご家族紹介】
左から～お母さんの悠希さん(32)、お父さんの康佑さん(25)、おばあちゃんの幸子さん(54)と袖乃ちゃん(8ヶ月)、おじいちゃんの義彦さん(61)
安藤さんは、小麦、大麦、甜菜、玉葱、馬鈴薯など約20%を作付けしています。

平成25年度

あるべき将来の姿を目指し 活動方針と新役員を決定

J Aきたみらい女性部・青年部・フレッシュユミズ 第9回通常総代会終える

設立から節目の10年目を迎えた三組織。共に「組織検討会」を立ち上げ、組織の将来を見据えたあるべき姿を全体で協議しています。活動においては、役員・会員間の結束力を高めるべく、統一活動を積極的に取り組んでいます。この様な中、総代会が開催され、新年度の「結束力を高め、あるべき将来の姿を目指す」や「農業に生きる者として、夢と誇りを持つ」などを含めた活動方針の決定と、新役員を選出し、新たに第一歩をスタートさせた三組織を紹介します。

女性部

農業に生きる女性とし 夢と誇りを

J Aきたみらい女性部第9回通常総代会が2月17日、各支部の代議員52人（内委任2名）が出席し、JAセンター事務所にて開かれました。開会宣言を西森副部長が行った後に、竹下理事によるJ A女性組織綱領の朗唱が行われました。

開会挨拶で齊藤部長は「同じ職業を共に支え合う結束は、何倍ものエネルギーになる。楽しい女性部を目標に協力して頂きたい。」と呼びかけました。



▲開会挨拶を述べる齊藤部長

「夢と誇りを持つ」などを含めた活動方針の決定と、新役員を選出し、新たに第一歩をスタートさせた三組織を紹介します。

「その他」まで審議されました。質



▲来賓代表として祝辞を述べる坂下専務

「夢と誇りを持つ」などを含めた活動方針の決定と、新役員を選出し、新たに第一歩をスタートさせた三組織を紹介します。

「その他」まで審議されました。質

部長再任

齊藤のり子さん

全ての議案が終了し、新旧役員の間が挨拶が行われ、旧役員を代表し西森副部長が、「役員を経験した自分だからみなさんに伝えられる。同じ環境の仲間がいて、悩みを共有し、互いにプラスになるので、皆さんにも経験をして欲しい」と退任の挨拶を述べました。

引き続き、新支部長の自己紹介後



▲議長を務めた相内支部の星加智子さん（右）と上常呂支部の河野由美子さん



▲平成24年度役員を代表し退任挨拶を行う西森副部長（左から4人目）

には再任した齊藤部長から「将来の女性部を見据えた時、検討課題などが多々あるが、楽しく魅力ある女性部を目標に、1年間頑張りたい」と挨拶が行われ会場の代議員から大きな拍手が送られました。

なお、理事6名と監事2名は後日開催される役員会にて各支部長から互選されます。新役員体制は次の取りとなっています。

- 部長 齊藤のり子（置戸支部）
- 副部長 川岸 啓子（相内支部）
- 副部長 黒須 倫子（北見支部）
- ※オホーツクJA女性協
役員兼務
- 支部長は次の通り
- 温根湯支部 牧野 千代
- 留辺蘂支部 飯田恵津子
- 置戸支部 東海林静子
- 訓子府支部 齊藤 晴美
- 相内支部 星加 智子
- 上常呂支部 河野由美子
- 北見支部 井上 峰子
- 端野支部 杉本千恵子

（敬称略）



▲平成25年度執行部に就任した各支部長（牧野支部長は諸事情のため欠席）



▲新役員に選任された齊藤部長、川岸副部長、黒須副部長（左から）



青年部

結束力を高め あるべき将来の姿を目指す

J Aきたみらい青年部第9回通常総会が2月17日、センター事務所で開催され、代議員61名（委任3名）が出席しました。

北川副部長の司会進行のもと、定刻に児玉副部長が開会宣言。

引き続き大畑理事によるJ A青年組織綱領の朗唱を出席者全員で行いました。



▲主催者挨拶を述べる佐藤部長

開会挨拶に立った佐藤部長は「青年部では今後の農業、地域の役割を果たすために部員間との連携交流を図りながら、8支部統一スポーツ交流会・学習会など各事業を積極的に進めてきた。また、今年度初めて組織検討委員会を設け、今後の役員



▲激励と期待の言葉を述べる大坪常務

の菅野会長が出席しました。

来賓を代表して、大坪常務は「地区別懇談会において多くの青年部の参加とたくさんのお意見をいただいた。きたみらいは10年が終わり、11年目を迎えるようになっている。これからの農協事業運営は若い世代の力と団結力が重要になってくる。みなさんの若い世代の知恵と力を貸してもらい、



▲出席者全員で行われたJ A青年部組織綱領の朗唱

きたみらいがこれからどうあるべきかを含め、「ご協力いただきたい」とお祝いを述べました。

その後、議長に端野支部の赤塚洋介さんと菅原有矢さんが選任され、議案第1号から議案第7号までを審議、全ての議案は全会一致で承認さ

れました。

2名の議長は「J Aきたみらい青年部10年目の活動が本日よりスタートする。新役員体制の下、部員のみなさんが今まで以上に協力・協調し合い、青年部活動の充実を祈念する」と退任の挨拶を述べて閉会しました。

新部長に荒喜文さん

全ての議事が終了した後、新旧役員との挨拶が行われました。旧役員を代表して、佐藤部長から「本部役員という大任を果せたのもみなさまのお力添えがあったからこそ。短い期間であったが部長という貴重な経験をさせてもらった。様々な経営の人たちが集まれる場所であり、仲間作りができる場であることを改めて実感した。これからは支部を越えた仲間作りが重要になってくる。新体制になっても積極的に事業に参加し、部員が誇れる組織作りを目指してほ

しい」と退任挨拶。

引き続き新支部長の自己紹介後、新三役が挨拶。その中で部長に選任された荒喜文さんは「小さい支部から大きな組織の部長になることはとても不安であるが、新役員と一致団結し、オホーツク各地区との関係を深めていきたい」と就任の挨拶を行いました。

なお、新役員体制は次の通りとなりますが、理事6名と監事2名は、後日開催される第1回役員会で互選される運びとなっています。

- 部長 荒喜文(留辺蘂支部)
- 副部長 川畑 師和(上常呂支部)
- 副部長 森谷 祐樹(相内支部)
- 本部役員は次の通り
- 温根湯支部 東海林 健
- 留辺蘂支部 坂下 修一
- 相内支部 小野 博之

- 置戸支部 小山 勇樹
 - 訓子府支部 須河 岐文
 - 上常呂支部 景政 大雄
 - 北見支部 米森 弘
 - 端野支部 赤塚 洋介
- (敬称・略)



▲議長を務めた端野支部赤塚洋介さん(左)と菅原有矢さん



▲事業報告に耳を傾ける総代のみなさん



▲平成24年度の執行部を努めた役員のみなさん



▲平成25年青年部役員のみなさん
3役は左から荒喜文部長・森谷祐樹副部長・川畑師和副部長が就任

フレミズ

魅力的で一人ひとりが輝ける組織へ

JAきたみらいフレッシュミズ第9回通常総代会が2月18日、JAセンター事務所で開催され、支部代議員54名（内委任6名）が出席しました。定刻、黒須副会長の開会宣言に引き続き、安西理事によりJA女性組織綱領の朗唱を出席者全員で行いました。

菅野会長は「この1年、円滑に活動を行えたのは、会員みなさんの支

援と真摯な取り組みに感謝します」と開会挨拶をしました。

総代会には、JAきたみらいの坂下専務、JAきたみらい女性部の斉藤部長と同青年部の荒部長が来賓として出席。

来賓祝辞で坂下専務は「子育てでは、母親の愛情があきらめない心を育てる。楽しみながら子供たちと一緒に成長して欲しい」と挨拶。

女性部の斉藤部長は「支部関係なく、素敵な友をたくさん作り、仕事、子育ての悩みなど話せる仲間作りをして欲しい」と激励の言葉を送りました。

オホーツクJA女性協とJAきたみらい馬鈴薯振興会からの祝電が披露された後、議長に訓子府支部の佐藤梨紗さんと長谷川里奈さんを選出し、議案第1号「平成24年度活動報告及び収支決算報告」から議案第6号「その他」まで審議され、全議案が全会一致で承認されました。



▲開会挨拶を述べる菅野会長



▲「母親の愛情があきらめない心を育てる」と来賓挨拶を述べる坂下専務



▲「素敵な友をたくさん作り、悩みを話せる仲間を増やして欲しい」と祝辞を述べた斉藤部長



▲代議員54人が出席して開かれた第9回通常総代会

新会長に

穴田優子さん

総代会では役員の改選が行われ、新三役を代表して穴田会長は「役員全員で力を合わせてみなさんが気軽に参加でき、楽しめる活動を考えていきたいと思っている」と就任の挨拶を行い、会場の代議員から大きな拍手が送られました。

なお、新役員体制は次の通りですが理事6名と監事2名は後日開催される役員会にて各支部長から互選されます。



▲議長を務めた訓子府支部の佐藤梨紗さん（左）と長谷川里奈さん



▲退任の挨拶を行う菅野会長、村上副会長、黒須副会長（左から）

- 会長 穴田 優子（上常呂支部）
- 副会長 安西 千春（置戸支部）
- 副会長 中西 智子（訓子府支部）
- 支部長は次の通り
- 温根湯支部 山上 志和
- 留辺蘂支部 坂下あゆみ
- 置戸支部 渡邊 美和
- 訓子府支部 藤森 彩
- 相内支部 森谷 美生
- 上常呂支部 上野さち子
- 北見支部 米森こず恵
- 端野支部 間村 絵美

（敬称略）



▲平成25年のフレッシュミズの8支部の支部長（左から順に温根湯支部から端野支部まで）



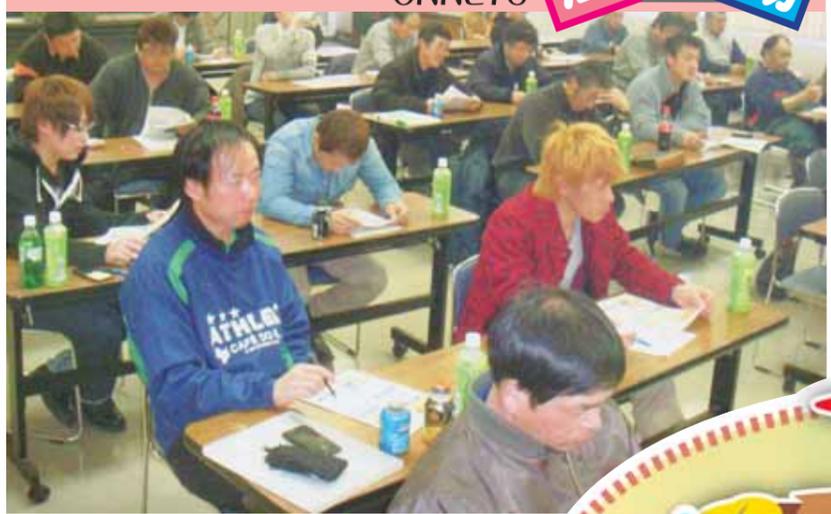
▲新三役に選任された穴田会長、安西副会長、中西副会長（左から）



▲今年初めて設置した託児所で楽しく遊ぶ子供たち

高品質玉葱の生産に向けて

～昨年を振り返り 今年の対策を～



▲講師の話をも熱心に聴く参加者のみなさん

温根湯地区事務所では2月7日、冬期「玉葱講習会」が行われ、生産者30名が参加しました。講習会では網走農業改良普及センターの直井専門普及指導員を講師に迎え、本年度の防除に関する注意点について、24年度の気象状況と作業時期における生育状況を振り返りながら講習が行われました。また、主要病害虫の発生状況と今後の対策な

どについての説明も行われ、参加した生産者の皆さんは講師の説明を熱心に聴き取り、真剣な表情でメモを取っていました。講演後には、これから始まる管理作業や播種に向けて質疑応答が交わされ、本年度の高品質玉葱の生産に向けて有意義な講習会となりました。

新年度活動へ 多数参加を願い

～総会兼ね ゆったり温泉保養～



▲真剣な表情で審議に臨む会員のみなさん

JAきたみらい相内支店・年金友の会（高橋正則会長）は2月12日、温根湯のホテルで2泊3日の温泉保養旅行を兼ねた通常総会を行い、来賓及び会員55名が出席しました。総会では、昨年度の収支決算報告、今年度の事業計画案など合わせて4の議案を審議、出席者全員の承認を得て閉会しました。最後に副会長より、高齢化に伴い会員の減少が進む

状況に対し、参加者に「年齢に関わらず年金友の会の活動に積極的に参加して欲しい」との呼び掛けがあり、今後はより一層充実した活動を目指したいとの意気込みを話しました。総会終了後は温泉に入り、体の疲れを取るとともに、懇親会で会員同士の親睦を深め、和やかな3日間を過ごしました。



収量向上目指し 先進事例紹介



▲農業の説明をするシンジェンタジャパンの追立氏



～馬鈴薯栽培講習会 2部構成で開催～

上常呂馬鈴薯振興会（長山正吉会長）は2月13日、上常呂地区事務所にて馬鈴薯栽培講習会を開き、生産者他19名が参加しました。講習会は2部構成で実施。初めに農業メーカーのシンジェンタジャパンの武岡部長・追立氏を講師として農業関係の講習が行われ、農業を減らすためには農業の知識を必要とし、接触・浸透・浸透の3つの特性を理

解した上で使用することが重要であると説明しました。続いて、農業改良普及センターの山下主査・佐竹普及員より栽培講習が行われ、昨年の病害虫発生状況やその対応などを説明、また、相内地区の本田豊身さんが実践している先進事例なども紹介され、参加者は収量増加や安定した生産量の効果に興味深く聴き入っていました。

安全確認 基本を守ろう



▲交通事故の事例を聴く参加者のみなさん



～事故防止講習会に 組合員32名が参加～

置戸地区事務所では2月20日、「農作業事故・交通事故防止講習会」が行われ、組合員約32名が参加しました。講習会では、講師に北見警察署置戸駐在所の阿部悦夫所長を迎え、置戸町や近隣市町村で実際に起きた作業事故や交通事故の事例、その後の保険対応に係る事まで、事例を交えて講話が行われました。講演の最後

に阿部所長は「農作業が忙しくても安全確認を怠らず、当たり前のことであるが基本を必ず守り、事故防止に対して高い意識を持って欲しい」と呼びかけました。その後、組合員を代表して青年部置戸支部の小山勇樹支部長が「安全運転に徹底、事故防止に努めます」と交通安全決意宣言を行い、講習会は終了しました。

新しい発想で 更なる飛躍へ

～端野町くれない生産組織 設立20周年～

TANNO **端野**



▲発足当時の様子を振り返りながら謝辞を述べる松下初代部会長

端野町くれない生産組合（伊藤浩司組合長）は2月15日、生産組織設立20周年記念式を地区事務所で開催し、生産者及び来賓約35名が出席しました。

同生産組織は平成4年に玉葱振興会の傘下組織として設立され、10年後に振興会より独立。記念式では6人の歴代部長に伊藤組合長より感謝状と記念品が贈呈されました。初代

部会長を務めた松下一巳さんは「試験研究栽培をしたこと、販路開拓やPRのため街頭販売したことが走馬燈のように頭に浮かぶ」と発足当時を振り返っていました。

記念式の中で伊藤組合長は節目の20年を振り返り、「既存の考えに捉われない新しい発想のもと、安定生産に取り組みたい」と決意を表明、新たな発展を確認しました。

築き上げた 「志」受け継ぐ

～北見玉葱 50年の歴史振り返る～

KITAMI **北見**



▲杉山部長より感謝状を受け取る西島前部長

北見市玉葱振興会青年部（杉山幸治部長）は2月12日、北見市内のホテルで創立50周年式典を開き、部員など33名が参加しました。

同青年部は、昭和38年に発足。式典の前段に、通常総会と同青年部が実施する玉葱栽培の試験結果、府県視察研修の報告が行われ、参加者は、真剣に耳を傾けていました。

続いて行われた記念式典では、歴

代部長及び来賓より、発足当初から現在に至るまでの、経過を踏まえた祝辞が述べられ、その後、杉山部長より過去10年間に部長を務めた方へ感謝状が贈呈されました。

乾杯の後は、お酒を囲みながら玉葱の栽培管理や品質に関する基準を確認し合い、今後に向けての士気を高める式典となりました。



▼肌寒い中、伏せ込み作業を行う飯田さん



RUBESHIBE **留辺薬**

極早生玉葱 伏せ込み開始

～450枚のマットが ハウスに並ぶ～

留辺薬・大富地区の飯田和浩さんは、2月20日に、極早生種のタマネギ育苗マットの伏せ込み作業を始めた。

朝晩の急激な冷え込みが続き、前日からハウス内をジェットヒーターで暖め、床土を溶かしての作業となりました。

今年の極早生種の作付け面積を、60アールほどを予定している飯田さんは、

ハウスに約450枚の育苗マットを家族総出で並べました。

この後は、早生・中晩生の品種と作業は続き、3月上旬までに、ハウス6棟に約1万枚が並べられる予定です。

飯田さんは「昨年は収穫時期に長雨で苦労した。今年は良好な天候となるようお願いをこめ、健苗を育てていきたい」と話してくれました。

▼子供たちを勢いよく送り出す青年部員



KUNNEPPU **訓子府**

極寒のなか ホットな交流

～心も体もぽっかぽか～

真冬の一大イベント「第34回訓子府さむさむまつり」が2月3日、町公民館前で行われ、町内外から約2500人が来場し、極寒の中でのぬくもりを堪能しました。

同まつりはJA青年部訓子府支部（大畑圭吾支部長）を始めとし、町内の青年4団体による実行委員が運営の中心となり毎年開催。部員は悪天候にもめげず氷のすべり台を作製し、当日は子供たちを優しくエスコ

ートしていました。

JAコーナーでは青年部特製「柔らか鹿肉カレー」の他、スノーマシーン普及委員会による「スノーマシーン」の詰め放題が行われ、大勢の方が押し寄せました。

また、公民館の屋内では地場特産品を使った料理の展示会が行われ、来場者は地元企業や生産者が工夫を凝らしたメニューに心身ともに暖められていました。

私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は、やんちゃ3人兄弟に囲まれいつも笑いがたえない、川股貴和さん、さゆりさん夫妻を紹介します。

賑やかに、楽しく!!
 上常呂地区・広郷
川股 貴和さん(36歳)
さゆりさん(29歳)

- Q ご結婚されたのはいつですか?**
2004年11月28日です。
- Q 知り合ったキッカケは?**
友人の紹介で知り合いました。
- Q 初めて合った時の印象は?**
貴和さん……「若いナー(出会った当時は18歳)」
さゆりさん……「細いナー(現在はプラス30kg)」
- Q 結婚を決意したポイントは?**
貴和さん……「今を逃すとあとがない(-o-;)」
さゆりさん……「そろそろかな」
- Q 休日の過ごし方は?**
元気いっぱいの子供と、一緒に遊んでいます。
- Q どんな家庭を築きたいですか?**
今まで通りワイワイと賑やかに、楽しく過ごせる家庭でいたいです。
- Q 今後の目標は?**
規模拡大と収量の増加を図り、安定した経営を目指します。



【写真説明】
 約30年前、休憩中に撮影した写真です。写真右のトラックの日陰で休憩しているのが下込さんです。

温根湯地区・大和
下込 高光さん(60歳)



思い出の写真

30年前のサイロ貯蔵

この写真は、今から30年程前の昭和50年代、下込さんの自宅近くで撮影したものです。今は姿を消したこのサイロですが、当時は4戸共同で飼料貯蔵に使用していました。サイロの中には女性が5人程入り、切り込まれてくるデントコーンを埋まりそうになりながら足で踏んでいきます。下込さんも中学の頃はサイロ内作業のアルバイトをしており、息苦しくて大変だったと笑って話してくれました。

この頃は地区周辺の多くの人々が葉物の野菜を作付けしており、下込さんも当時、酪農の他に白菜・レタスなどの野菜と甜菜、デントコーンを作付けていました。また、今ならデントコーン収穫は一日8畝程こなせますが、当時は1日精一杯作業して2畝程だったとのこと。

この頃の苦労について尋ねると、「牛・畑すべての作業が大変だった。今のような機械はなかったので、面積が少なくても忙しかった」と話し、また「あの頃はヘルパーもなく、休みと言えば雨の日ぐらい。うちだけじゃなくてみんながそんな状態の時代だった。特に日中収穫できない野菜は、朝早くからの作業で苦労させられたことを思い出すよ」と、ときおり苦笑しながら、懐かしそうに話してくれました。

マイテイスト ブラスバンド

My Taste 澤山さんの趣味は長年続けているブラスバンドです。留辺薬小学校の吹奏楽部に入部したのがきっかけで、現在に至ります。今は地元を中心に活動している社会人吹奏楽団「留辺薬グリーンプラスハーモニー」に所属し、今年で28年目のベテランとして団長を務めています。演奏の場は、年2回の定期演奏会のほか、留辺薬でのイベントや福祉施設などでも素敵な演奏を披露しています。奥さんの亜紀さんとの出会いもこの吹奏楽団がきっかけ。さらにその趣味は娘さんたちにも伝わり、いまでは家族共通の趣味となっています。

「忙しい仕事の合間を縫っての練習は大変だけれども、それでも団員みんなで一つの曲を作り上げたときの達成感は計り知れない」と澤山さんはブラスバンドの醍醐味を語ります。「ここまできたら出来なくなるまで一生の趣味として楽しんでいきたい」と笑顔で話してくれました。



留辺薬地区・大富
澤山 一之さん(48歳)



▲「留辺薬グリーンプラスハーモニー」のみなさん
 澤山さんは上段中央の左、奥さんの亜紀さんは下段左から4番目

ほのぼのの広場



きたみらいの
ホープさん

骨太の経営方針で
 置戸地区・川南
 ゆうき
中尾 祐貴さん(24歳)

祐貴さんは酪農専業の中尾英俊さん・のぶ子さんの長男で、平成23年4月に就農しました。

- 趣味は?**
野球観戦です。
 - 理想の女性とは?**
人の気持ちを考えられる人が良いです。
 - 結婚はいつ頃までに?**
30才までにははしたいと思います。
 - 休日はどんな事をしている?**
札幌などで大学時代の友人と遊んでいます。
 - 好きな食べ物と嫌いな食べ物?**
肉類が好きでマヨネーズが嫌いです。
 - 農業で学び実感した事は?**
家畜の体調管理の大切さと難しさを実感しています。
 - 今後の抱負は?**
時代の波に流されない骨太な経営をしていければと思います。
- 4月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部?支部の?さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



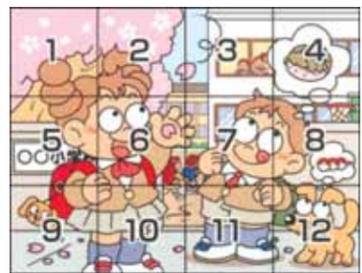
2月号クイズの当選者

2月号のまちがいさがしの答えは「1.3.8.9.10」でした。正解者63名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの坂下専務にお願いしました。

()内は地区名

- ・真野みどり (温根湯)
- ・渡辺 久子 (留辺薬)
- ・酒井美和子 (置戸)
- ・山腰 一功 (訓子府)
- ・植田 義則 (訓子府)
- ・福田 夏楓 (訓子府)
- ・丸子由美子 (相内)
- ・神田 涉吾 (上常呂)
- ・八木沼久美子 (北見)
- ・樺山 遥 (端野)

以上の方々には、バースデーイブの「クッキー詰め合わせ」をプレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、グリーンズ北見の白花豆・帆立のポタージュをプレゼントします。

大きくなったら



石見 結来ちゃん (2歳) 壮矢くん (5歳)

幼稚園の先生に、たこ焼き屋さん

結来(ゆら)ちゃん(右)5歳 大きくなったら、「なおり先生」みたいに笑顔の素敵な優しい幼稚園の先生になりたい。あと、たこ焼き屋さんにもなりたい。大好きなたこ焼きをお腹いっぱい食べるんだ。

さあ、ショータイムだ!

壮矢(そうや)くん(左)2歳 (取材者:大きくなったら何になりたいのかな?) ウィザード!ウィザード!!フォーゼも! あと、アンパンマン!!

石見啓伸さん、友栄さん夫婦の2人姉弟です。とても人懐っこくて元気いっぱい2人。結来ちゃんは壮矢くんの耳元で「たこ焼き、たこ焼き」とつぶやき、早くもマーケティング活動を展開。壮矢くんの力強い「ウィザード!」という叫びには、力強い決意を感じました。

ほのぼのの広場



北見地区・大和 米森 咲希(さき)ちゃん(4歳9ヶ月) 奏(かなで)ちゃん(2歳8ヶ月)

二人で一緒に!

「こんにちわ!」と、人見知りもせず元気に迎えてくれた咲希ちゃんと奏ちゃん。「これね、つくったの」と保育園で作った可愛い紙のお雛様を見せてくれました。

最近では、咲希ちゃんのすることを真似ながら、一緒に遊ぶ奏ちゃん。取材中も二人で仲良く滑り台やジャングルジム、ぬいぐるみで遊ぶ姿が印象的でした。でも、お互い譲れないこともあり、時々けんかもするとか。

お母さんが作る料理の中で、咲希ちゃんはスパゲティとカレーライス、奏ちゃんはうどんが大好きです。

そんな二人にご両親は、「このまま明るく健康に育って欲しい」と優しい眼差しを向けていました。

咲希ちゃんと奏ちゃんは、米森淳史さん・こず恵さん夫妻のお子さん達です。

今 回のまちがいさがし、大変むずかしかったです。ハウスの仕事も始まります。体に気をつけ頑張ります。

(温根湯地区・岩橋 椎奈さん)

2月号のまちがいさがしは、特にむずかしかったみたいでけっこう不正解者の方がいらっしゃいました。今回も、ちょっとむずかしいですよ。

2 月の始め野菜のハウスを掛けました。昨年の秋にハウレン草の種をハウスに播いているので大きくなるのが楽しみです。いわゆる越冬ハウレン草だつて今、野菜高いですよ。

(温根湯地区・大関 博子さん)

越冬ハウレン草、おいしいですよ。私も大好きです。早く地元の野菜が食べたいです。ちなみに、私は春のニラが大好きです。

読者の声

暖 かい日が続くようになってきましたね。体が目覚めていくように、気分もうきうき。さあ 今年も 頑張ろう!

(相内地区・丸子 由美子さん)

最近青空が続き、春を感じさせる日が多くなってきました。まだまだ寒い日も続きますが、怪我には十分注意して、無理せず頑張ってください。

特 集のご当地グルメ、北見塩焼きそば、とっても美味しいですが、全国のご当地グルメも美味しい。食べてみたいなーと思いました。

(北見地区・匿名希望)

私も、全国のご当地グルメを見て、自分なりに順位を決めて楽しみました。観光を兼ねてご当地グルメ巡りを検討したいですが、予算の都合で無理かな?でも食べたいですね。

おらがまちの



揃って旅行にはまっています

おしどり夫婦



相内地区・東相内

北口 政吉さん(71歳) ケイ子さん(66歳)

政吉さんは中学校卒業後、農業の傍ら通信教員として28年勤務。2003年に退職し、現在は専業主夫として暮らしています。ケイ子さんは専業主婦として28年勤務。2003年に退職し、現在は専業主夫として暮らしています。

夫婦二人で旅行にはまっています。今年、北海道へ旅行に行きました。ケイ子さんは、旅行が好きで、毎年旅行に行きます。政吉さんは、旅行が好きで、毎年旅行に行きます。

母ちゃん力で繋がる 支えあろうオホーツク

第33回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会

312人が参加し

仲間の力を伝える

オホーツクJA女性協議会は1月31日と2月1日の2日間、温根湯温泉の大江本家で「第33回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会」を開催しました。

この大会には、オホーツク管内14JAの女性部員・役員・事務局ほか合わせて312人が参加。うち女性部は本部と支部から86人が参加しました。

開会式で同協議会の馬淵陽子会長は「今回も2日間の日程でさまざま研修を用意しました。『良い話を聞いた』だけでなく、いかに自分に役立て、実践出来るかが大切です。この2日間の研修から、



▲主催者挨拶を述べる馬淵会長

自分の役立てる物を持ち帰っていただきたい」と述べ、続いてオホーツク農業協同組合長会の佐藤正昭（J

自分の役立てる物を持ち帰っていただきたい」と述べ、続いてオホーツク農業協同組合長会の佐藤正昭（J

Aこしみず）会長、オホーツクJA青年部協議会の平岡敏幸会長から祝辞が述べられました。

その後、同協議会の役員が、「道女性協海外視察研修会」と「JA全国女性大会」の報告を行い、JA北オホーツクの栗山雪江部長が「組織活動体験発表」。JA清里町の中平三枝子さんが「家の光記事活用体験発表」を行いました。

講演は「話しあれこれ」と題して、STVラジオパーソナリティのようへい氏が90分、

▲たくみな話術のようへい氏(右上)の講演に笑いがたえない会場(下)

自分の生い立ちなどについて講演。俳優を目指して上京し、そこで出会った落語の世界に憧れ、桂歌春師匠へ入門。嘶家は

初日の最後には、参加者が楽しみにしているアトラクションが行われました。当JA女性部からは1番目に置戸支部、2番目に温根湯支部が登場。

置戸支部はテレビの「めっちゃ×2イケてる」で行われていた「スタンブショー」で参加し、顔を真っ黒に塗った6名が軽快な音楽に乗り、デッキブラシで床を叩きながら登場。巨大サイコロで罰ゲーム対象者を決



▲置戸支部の「スタンブショー」。顔を黒くぬりデッキブラシ片手に軽快に登場



▲温根湯支部の「温根湯音頭」、その華麗な踊りに、観客から投げられた大量のおひねりが足下に山積です

め、巨大張り扇でおしりを叩くというもの。アトラクションのトップバッターとして会場を大いに盛り上げていました。

続いて温根湯支部が登場し、浴衣法被姿で「温根湯音頭」を披露。全員が一糸乱れぬ動きで優雅に踊り、観客から「おひねり」や「あめ玉」が大量に投げかけられていました。その後、5地区の女性部から歌や踊りが披露され、会場は盛り上がりしていました。

2日目の研修は「歌う門には福来る」と題して、音楽療法士の高木恭子氏の講演と、「家の光情勢報告」が行われました。この2日間展示され

ていた、各地区の女性部から出品された総数92点の「展示物講評・表彰」が行われ、当JA女性部からはフラワーハーモニー作品展で相内支部、生活展で訓子府支部柏丘地区女性部がともに優秀賞に入選しました。



▲フラワーハーモニー作品展で入選した、相内支部の「花壇写真展」(上)と生活展で入選した訓子府支部柏丘地区の「かりんとう」(下)

分娩移行期の飼養管理は

きたみらい酪農青年部 冬期講習会を開催

きたみらい酪農青年部(小山勇樹部長)は2月26日、訓子府地区事務所冬期講習会を開催し、部員29名が参加しました。

今回のテーマは「分娩移行期の飼養管理」として、オホーツクNOSA-北見診療所の船越係長と網走

農業改良普及センターの前田博行専門普及員を講師に招き、置戸町の小山牧場と北見市留辺蘂の井上牧場の両牧場を例に上げ、分娩移行期における飼養管理について学びました。

講習会では両牧場の経営規模や概要から始まり、特に分娩の前後にお

ける、牛の管理方法や分娩時の注意事項、飼料の給与について小山勇樹さん、井上光夫さんより直接説明されました。参加した部員達は自分の経営や飼養方法と比較しながら、真剣に耳を傾けていました。

説明終了後、参加者からは冬場の飼料管理や良質のグラスサイレージを作る際の留意事項、作業機械などの細かい点までに話しが及び、活発な意見交換となりました。



▲講習会開催にあたり主催者挨拶する小山部長

合併10周年

新たな土台作りスタート

西川組合長訓示

JAきたみらいは2月1日、合併10周年を迎えました。新年度事業の開始日となった当日、センター事務所、西川組合長は「これからの10年を構築する新たな土台づくりのスタートを切った」と話し、さらに「組合員の心を一つにするために、役員が情報を共有・発信していく体制をいっしょに汗を流して作り、全道一、日本一といわれるJAを目指そう」と役員に訓示しました。

平成15年2月1日に、「夢ある農業経営」と豊かな暮らしを求めて、1市4町の旧8JAが広域合併を行い、「きたみらい農業協同組合」が誕生しました。この間、JA本来の姿である「組合員とともに、組合員による、組合員のため」の3原則を経営理念に、組合員経済の向上や地域農業と経済への貢献を目指し、事業展開を進めてきました。



▲役員に訓示する西川組合長

昨年の第9回通常総会で決定した合併10周年に伴う記念事業を本年、計画しています。「組合員と利用者への感謝の気持ちを行動に」未来につなげる10周年をテーマに、国産農産物の将来展望と課題を共有する「きたみらいフォーラム」や、「乳牛共進会」「ふれあい農業祭」「感謝の集い」などが開かれます。

また、記念誌発行や組合員など表彰の他、地域貢献に関する事業などを、7月から11月にかけて行う運びとなっています。

寒い！冷たい！ 焼き肉おいしい！

北見厳寒焼き肉まつり

1500人がしちりん囲む

北見市の名物行事「北見厳寒焼き肉まつり」が2月8日、北見芸術文化ホール駐車場で開催されました。参加者はあまりもの寒さに身を震えさせながらも、ホルモンやサガリを味わっていました。

底冷えを感じる屋外でしちりんを囲み、焼き肉を楽しむイベントは今年で14回目。肉や木炭、割り箸、玉葱などの野菜も地産産物にこだわっているのも特徴です。

まつりが始まった午後6時の気温



▲極寒の中で焼き肉を楽しむ台湾からの観光客

JAからの お知らせ

INFORMATION

選ばれる産地に

設立10周年

端野町玉葱振興会青年部

端野町玉葱振興会青年部は2月14日、第12回定期総会後に設立10周年記念式をJAきたみらい端野地区事務所で開催しました。同部員をはじめJA関係者など約40人が出席し、節目の10年を振り返り、新たな発展を誓い合いました。

井上貴博部長は「これからも時代

のニーズに合わせるための確かな情報収集に努め、選ばれる産地を目指す振興会の礎となる努力を続けたい」と決意を述べました。同青年部は平成14年3月、後継者の育成と情報交換を図る場として25人の部員で結成。品質向上や安定収量の確保を目指して取り組んできました。



▲4人の歴代部長を代表して謝辞を述べる縦山敦史さん(左)と2代目部長の丸本仁さん、3代目部長の竹原哲也さん、5代目部長の北川憲一さん(左から)

JA車検 前年比27%アップ キャンペーンで利用拡大

当JAのセンター事務所では2月22日、「2012車検キャンペーン」Wチャンス「抽選会」を行い、西川組合長をはじめ常勤役員4人が抽選を行いました。

JAきたみらい車輛整備工場の利用拡大を図ろうと、昨年の2月から今年の1月までの1年間、「JA車検キャンペーン」に取り組みました。

キャンペーンの特典は3つ。特典1は、車検利用者に1辺20円引きの給油割引チケット250円分を。特

典2は、JA車検利用の紹介者に1辺20円引きの給油割引チケット100円分が、それぞれプレゼントされました。さらに特典3はWチャンスで、JA車検利用者から1等「3万円分の旅行券」が5人、2等「1万円分の旅行券」が10人に当たります。

抽選箱には、JA車検を受けた698台の車輛所有者の応募券がびっしり入り、西川組合長や坂下専務、大坪常務、山本常務が交代で、1等と2等の抽選を慎重に行いました。

抽選を終えた西川組合長は「新規車検者も増え、キャンペーンの成果が表れた。約700台の所有者に感謝したい」、さらに「大事な愛車を永く乗っていただくために、車輛整備の技術を一層高めたい」と抱負を話しました。

新規利用車検は150台、車検台数も前年対比27%増の実績を残した同工場は、本年も昨年を引き続き、特典やWチャンスのパワーアップをはかり、JA車検利用を呼び掛けるキャンペーンを継続します。

なお、Wチャンス当選者の皆様には、賞品の発送をもってご案内させていただきます。



▲1等と2等の抽選を終え、笑顔の常勤役員

INFORMATION

第1回 理事会報告

2月22日、午前9時30分より第1回定例理事会が催され、報告事項15件、議決事項8件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①監査報告（決算棚卸、自己査定、組勘精算状況）報告について
 - ②平成25年度監事監査計画について
 - ③内部監査＜無通告（貯金）＞報告について
 - ④平成24年度内部監査業務報告について
 - ⑤組合員状況報告について
 - ⑥人事の発令について
 - ⑦地区別懇談会の実施報告について
 - ⑧平成24年度資産査定に係る2次査定結果について
 - ⑨信用基準による階層区分の設定及び対策農家の選定について
 - ⑩平成25年度農家経済再建対策指導方向について
 - ⑪H24年産玉ねぎ、馬鈴しょの選果販売状況について
 - ⑫平成24年産てん菜の本精算について
 - ⑬TPP交渉参加断固阻止に関する要望書について
 - ⑭姉妹農協再調印について
 - ⑮学識経験役員候補者の推薦について

- 【議決事項】
- ①出資増減口及び持分譲渡について
 - ②平成25年度コンプライアンス・プログラムの制定について
 - ③税効果積立金の取崩について
 - ④水田・畑作経営所得安定対策等支援資金の借入について
 - ⑤当組合との利益相反取引に係る取扱について
 - ⑥平成25年度余裕金の運用について
 - ⑦平成24年度事業報告及び収支決算状況について（貸借対照表・損益計算書）
 - ⑧平成24年度剰余金処分（案）について

JA事務所 始業時間変更 4月1日(月)より

4月1日(月)から、センター事務所、8地区事務所、資材店舗などの始業時間が変更になりますのでお知らせ致します。

■事務所・資材店舗■
▶始業 午前8時40分 ▶終業 午後5時00分

※ホクレン給油所の営業時間は午前8時から午後7時まで(月～土)。日曜日と祝祭日は午後6時までの営業。なお日曜日は訓子府・上常呂の両給油所は休日となり、端野給油所は第2日曜日のみ休日となります。

訂正とお詫び

先月号(121号)の「おひさまサラダ」で、次の通り誤りがありましたので、訂正のうえ深くお詫び申し上げます。
■訂正箇所■
○12ページのほのほの広場・わが家のアイドルの記事で 坂下恭悟くんを→坂下恭梧くんに訂正

健康診断(検診)を受けましょう!!

JAでは農業従事者の健康づくりを促進するとともに健康診断の未受信者解消に向け「健康診断の受診率向上」を振興方策に掲げています。

組合員及び家族のみなさんに健康管理の一環として、1年に1回は受診されますようお勧め致します。

▽正組合員とその家族の検診受診人数 (H24/2/1～H25/1/31)

	北見	温根湯	留辺蘂	置戸	訓子府	相内	上常呂	端野	合計
人間ドック(厚生病院)	58	42	28		43	29	3	34	237
巡回ドック(厚生病院)	8	3				4	53	21	89
その他ドック(がん検診)		1		125	119	1	1	4	251
合計	66	46	28	125	162	34	57	59	577
受診率(戸)	19.6%	34.2%	48.6%	55.3%	29.3%	20.4%	25.6%	16.7%	27.6%

・きたみらいの就農者は家族従業員含め約4,000名ですので、年間の受診率は約15%程となります

- ☆人間ドックと巡回ドックの違いは？
- 人間ドックの良いところは……
 1. 検査内容が多く充実しています(腹部エコー(腫瘍・胆石)・尿酸(痛風)・肺機能 他)
 2. 当日に結果が分かり保健指導が受けられます
 3. X線撮影の大きさが10倍となり、より細かく診断できます
 4. 「夫婦の日」を設け、検診・保健指導など夫婦で受けられる……など

◎JAでは全地区対象に下記内容で検診の助成しています。助成交付内容及び助成額と助成方法について

助成内容	助成額(上限)	助成方法	備考
①人間ドック 厚生病院(遠軽・網走) その他病院	15,000円 ※基本料の半額助成 5,000円	検診料から助成額を差引いた額を指定口座より引落し	※JAに連絡が必要(早期予約をお勧めします) ※領収書の提出が必要
②巡回ドック 厚生病院(実施場所は後日案内致します)	7,500円 ※基本料の半額助成	検診料から助成額を差引いた額を指定口座より引落し	※JAに予約連絡が必要
③脳ドック 単独検査のみ(病院指定なし)	5,000円	助成金を指定口座に振り込み	※領収書の提出が必要
④胃ガン検診(行政の検診のみ)	1,000円	助成金を指定口座に振り込み	※領収書の提出が必要
⑤子宮ガン検診(頸部)(行政の検診のみ)	1,000円	助成金を指定口座に振り込み	※指定病院からJAへ請求がある場合は差額を指定口座より引落しする

(注) 上記金額を上限とし、支払額が助成額未満であれば、その額とする。
対象者⇒**正組合員とその家族(農業従事者)**
問い合わせ先 JAきたみらい企画振興グループ(☎24-2145)

玉葱と馬鈴薯を贈呈 地産地消と食農教育にパンフレットも配布

JAきたみらいでは2月4日、当JA役員及びきたみらい玉葱振興会と馬鈴薯振興会の会長など5人が北見市・訓子府町・置戸町を訪れ、学校給食への食材提供として玉葱と馬鈴薯を贈呈しました。

この活動は、地産地消と食育活動の一貫として行われ、今回で4回目となります。
今年は玉葱225ケース、馬鈴薯290ケース合計で7・4tを1市2町にある13の幼稚園と小学校25校、中学校17校の給食用食材として提供されました。
北見市役所を訪れた馬鈴薯振興会の平川会長は「新品種のスノーマーチは、子供たちが大好きなカレーやシチューに最適です」と話し、櫻田北見市長より「地元でとれた食材を大切に使用していただきます」と礼を述べられました。
また、北見地区農業振興連絡協議会(JA・北見市・訓子府町・置戸町・網走農業改良普及センター・オホーツクNOSA)で構成)では、食育教育用パンフレットを新たに作

成し、今回の玉葱・馬鈴薯が食材として送られた際、全児童へ配布されました。
食農教育パンフレットについては平成22年に「みんなのまちのJAきたみらい」が配布されていますが、今回は「JAきたみらい・玉ねぎちゃん」と「じゃがいもくん」の表題でB5版の12ページで作成。イラストや写真を大きく取り扱い、園児や小学校低学年が理解しやすいよう心がけて編集されています。同JA西川組合長は「植付けから流通まで、一連の流れを絵本仕立てで作成されており、子供たちも興味深く読んでもらえることでしょう」と期待を寄せていました。



▲訓子府町の佐藤副町長(左2人目)と林教育長(左1人目)に目録とパンフレットを手渡す玉葱振興会小野会長(右2人目)と馬鈴薯振興会平川会長(右1人目)



▲櫻田北見市長(左前)にパンフレットの説明をする西川組合長(右3人目)と坂下専務(右4人目)



▲左から順に置戸町井上町長、平野教育長、和田副町長に玉葱と馬鈴薯を贈呈するJAきたみらい坂下専務、大坪常務、小野会長と平川会長



◀一緒に配布された食育パンフレット「玉ねぎちゃん」と「じゃがいもくん」



【材料：4人前】

- 温かいご飯800g
- 青菜(ダイコン、カブ、小松菜、セロリなどの葉).....約 100g
- 塩.....小さじ 2/3
- 鶏もも肉2 枚(500g)
- ネギ1~2本
- みそ床
 - みそ150g
 - 砂糖大さじ 3
 - みりん大さじ 3
 - 酒大さじ 3
 - しょうが汁小さじ 1
 - 七味唐辛子少々

鶏肉のみそ焼き丼

【エネルギー732kcal(1人分)】

【作り方】

- ①鶏肉は厚い部分に数カ所、切り込みを入れる。
- ②みそ床の材料を順に混ぜ合わせる。容器に半量を広げる。鶏肉を並べ、残りのみそを肉が隠れるように、載せる。冷蔵庫に半日から1晩置く。
- ③ネギは4~5cm長さに切る。青菜はたっぷりの熱湯で色よくゆでる。水に取り水気を絞り、細かく刻む。
- ④グリルでネギを焼き色が付くまで焼いて取り出す。次に鶏肉の表面のみそを取り、片面、約5分ずつ焼いて、中まで火を通す。1.5cm幅にそぎ切りにする。
- ⑤食べる直前にご飯に青菜と塩を混ぜる。器に盛り、鶏肉とネギを載せる。好みで、七味唐辛子を振る。

メモ

みそ漬けは冷蔵庫がなかった時代の保存の知恵。今流行の塩麹(こうじ)と同じような効果がみそ床にあり、ジューシーにふっくらと仕上がります。みそ床は同じものを漬けるなら2~3回繰り返し使えます。豚肉・魚などでも応用できます。

おひさまクラブ COOKING ♡おいしいもの大好き!♡



【材料：4人前】

- ダイコン150g
- ニンジン50g
- レンコン100g
- 干しシイタケ2個
- しらたき50g
- 油揚げ1 枚
- サヤエンドウ10 枚
- ごま油大さじ 1
- 砂糖大さじ 1・1/3
- 酢大さじ 2・1/2
- しょうゆ大さじ 1
- シイタケの戻し汁大さじ 1
- 塩少々

炒めなます

【エネルギー104kcal(1人分)】

【作り方】

- ①シイタケは水で戻す。鍋に湯を沸かし、油揚げに湯を掛ける。サヤエンドウの筋を取り色よくゆでる。同じ湯で、しらたきもさっとゆでる。
- ②ダイコン、ニンジンは皮をむき、4~5cm長さ1cm幅の短冊切りにする。
- ③レンコンは薄いちょう切りにして、水に放す。シイタケは薄切りにする。しらたきは5cm長さに、油揚げは縦半分にきり、細切りにする。
- ④サヤエンドウは斜め半分に切る。
- ⑤鍋に油を熱し、②、③を炒める。油がなじんだら、Aを入れ、中火で汁気がなくなるまで炒める。盛り付けて、食べる直前にサヤエンドウを散らす。

メモ

野菜は彩りよく数種類を準備。炒め煮で手早く仕上げ。しばらく時間を置いて味をなじませます。冷蔵庫で2~3日保存が利きます。

編集後記

- ・特集で紹介した外郭団体三組織の総代会を含め、2月より新年度を迎えた各生産組織の総会、更には地区別懇談会、あるいは税申告。一段落する間もなく、『季節の薫り』で紹介した玉葱播種作業と、生産者みなさんの忙しさを感じる編集となっています。
- ・そのような中で、各地域では見覚えのない顔がちらほら。今年就農した『ニューフェイス』が早くも始動している姿が見られました。
- ・今は失い掛けているその“若さ”を多少分けてほしいと思いつつ、11年目を迎えるきたみらい農業に、新しい風が入りつつあると、実感できる季節となりました。(扇谷 光輔)

JAきたみらい概要

(平成25年2月16日現在)

- ・組合員数(正) 1,798人
- ・組合員数(准) 5,642人
- ・組合員戸数(正) 1,193戸
- ・貯金 102,316百万円
- ・貸出金 17,437百万円
- ・出資金 5,041百万円